（様式第３号）

企業・団体名　（　　株式会社 笹川建設　　）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

項目番号	カテゴリ	チェック項目	環境・社会・経済分野の区分			取組レベル	取組事項に○をつけてください	【非該当】の場合選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																	
			環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している		○		基本（必須）	○		・雇用、教育、昇進、福利厚生などあらゆる雇用条件において、差別することない体制をとり、経営者が積極的に社員と対話する機会を設けている。					●			●		●						●	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備し、ハラスメントがないことを確認している		○		基本（必須）	○		ハラスメント禁止の旨を就業規則に明記し、定期的に周知報告を実施するとともに、役員による相談窓口を設置している。					●			●								●	
3		【ワーク・ライフ・バランス】 ・過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワーク・ライフ・バランスを推進している		○		基本（必須）	○		長時間労働（除雪業務等）是正のための労働生産性の改善、時間管理、多様な働き方を許容する勤務体制の整備・対応を行っている。					●			●									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認するとともに、日本語教育の充実や地域住民との交流促進など、受入環境整備に取り組んでいる		○		基本（必須）		○	弊社では、外国人労働者を雇用していない。				●				●		●							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる		○		基本（必須）	○		社内コミュニティツールを使用し、連絡体系を構築し随時社員への安全面での連絡体系を行っている。			●					●									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる		○		基本（必須）	○		メンタルヘルスに関する相談窓口を設け、社員の心身の改善に努めている。			●														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる		○		基本（必須）	○		・多様な人材がチャレンジできる機会を設け、仕事内容の幅を広げられるよう推進している。					●			●		●							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している		○		基本（必須）	○		職務や役割に応じた研修体系を整備し実施している （技能講習・特別教育、監理技術者講習　他）				●	●			●	●								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している		○		基本（必須）	○		パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行っている。					●			●		●							
10		【就業制度の改善】 ・子育てなど一人ひとりのライフスタイルに合わせた就業制度の導入、ワークライフバランスの実現に取り組んでいる		○		基本（必須）	○		育児・介護・看護休暇など制度を整え、就業規則に明記し、社員への周知を行っている。	●		●		●			●		●							●
11		【男性育休の取得推進】 ・男性の育児休業が取得しやすい職場環境づくりに努め、子育てと仕事の両立に積極的に取り組めるよう、有給休暇制度等を設けている		○		基本（必須）	○		対象者に対して、取得推進を働きかけるとともに、人員補充の必要性や業務引継ぎの課題に対して、事前に確認する体制を構築している。			●		●			●		●							
12		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる		○		チャレンジ（任意）						●					●									
13		【生活困窮者の雇用・生活支援】 ・ひとり親、就職氷河期の非正規雇用者、失職者など生活困窮者の採用、生活環境改善の支援、職能・人材育成に積極的に取り組んでいる		○		チャレンジ（任意）				●	●	●		●			●		●	●						●
14	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		・廃棄物の種類・量など現状を把握し、台帳を整備している											●	●		●			
15		【エネルギーの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本（必須）	○		各社屋ごとの電気使用量など調査し、見合ったプランへの見直し・改定を行っている。							●						●			
16		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、CO2の削減など排出の抑制に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		排ガス抑制等になる重機械の導入を（入替）を行い、CO2削減に取り組んでいる。							●					●	●				
17		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		社内で規制物質のリストを共有し、使用区域には掲示物等で表示を明記し、使用時には見合った保護具を着用し作業に当たる。			●			●					●	●					

項目番号	カテゴリ	チェック項目	環境・社会・経済分野の区分			取組レベル	取組事項に〇をつけてください	【非該当】の場合選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																
			環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	〇			基本（必須）	〇		・山間部に近い現場では、野外生物・植物の生態系への影響を考え、重機械等の装備を最小限にし作業を行っている。（排ガス抑制機械等の使用）						●								●	●		
19		【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	〇			基本（必須）	〇		工事で排出され伐採木（主に枝）においては、出来る限り粉砕処理（チップ化）加工を行い、畑のたい肥となるよう環境保全に努めている。												●		●			
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・自家消費型再生可能エネルギーの利用に取り組むとともに、省エネの促進に取り組んでいる	〇		〇	基本（必須）	〇		弊社では、小型の自家消費型再生エネルギーを使用し、夜間の外灯として利用している。他、社内を完全LED化し電力の使用を最小限にしている。							●						●				
21		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	〇			チャレンジ（任意）									●											
22		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	〇			チャレンジ（任意）						●			●	●					●	●	●	●		
23		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	〇			チャレンジ（任意）															●					
24		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の保全と持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	〇		〇	チャレンジ（任意）										●		●			●	●	●	●		
25	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知し、徹底している		〇		基本（必須）	〇		汚職・贈収賄禁止等を含む行動遵守事項を就業規則内に明記している。																●	
26		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知し、徹底している		〇		基本（必須）	〇		該当する部署において、行動遵守事項に沿って業務遂行を行うよう周知徹底を行っている。																●	
27		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる		〇		基本（必須）		〇	当社において特許、商標等知的財産権の取得は行っていないため、該当なし。								●	●								
28		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している		〇		基本（必須）	〇		「個人情報」となる作業員名簿などの提出時には、他社と取り決めを行い、用途外使用を行わないよう徹底している。 個人情報データの保管は決められた場所で行っている。																●	
29		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱って**<u>いないこと</u>**を確認している		〇	〇	チャレンジ（任意）																			●	
30		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	〇	〇		チャレンジ（任意）								●			●		●		●	●	●	●	●	●
31		【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/		〇		チャレンジ（任意）						●					●	●	●							●

項目番号		チェック項目	環境・社会・経済分野の区分			取組レベル	取組事項に〇をつけてください	【非該当】の場合選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																
			環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している			○	基本（必須）		○	製品等の製造は行っておらず、サービスの概念においては、地域のごみ拾い等ボランティア活動を行っている。			●								●					
33		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している			○	基本（必須）	○		地域住民から要望･クレーム対応など、迅速に対応している。									●								
34		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	○		○	チャレンジ（任意）									●						●	●	●	●		
35		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		○	○	チャレンジ（任意）				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
36	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している		○	○	基本（必須）	○		現場説明会などを開き、地域との対話に基づき、事業の地域への影響の把握を行い改善に努めている				●					●		●	●		●	●		●
37		【社会貢献活動】 ・寄付、地域活動への参加など持続的な社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		○	○	チャレンジ（任意）							●							●			●	●		●
38		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している		○	○	チャレンジ（任意）											●	●		●	●	●				
39	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している		○		基本（必須）	○		社是･経営理念を掲示し、安全大会時には社員一同で唱和をおこなっている。								●	●								●
40		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している		○		基本（必須）	○		HPや社内コミュニティツール･掲示板を使用して法令順守(コンプライアンス)の周知報告を全社員に向けて発信している。																●	
41		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している		○		基本（必須）		○	現在、専門部署は設けておらず、責任者(役員)において定期的な会議を行っている。															●	
42		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）		○		基本（必須）	○		適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、改良･改善に努めている。																●	●
43		【DXの推進】 ・デジタル技術を積極的に活用し、職員等の業務効率化や生産性向上に積極的に取り組んでいる		○	○	基本（必須）	○		ICT機械の導入により業務効率が向上し、バックオフィスのDX化を推進し、並行して職員への研修を実施している。			●					●	●								
44		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、職場安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している		○		チャレンジ（任意）																			●	
45		【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		○		チャレンジ（任意）																			●	
46		【事業継続】 ・過去の地震や水害などを教訓として事故や災害、さらにサイバー攻撃などの発生における事業継続計画を立案している		○		チャレンジ（任意）												●		●		●			●	
47		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		○		チャレンジ（任意）											●	●								●

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組の「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、【予定】と補記してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、「チェック項目」に関する具体的な取組を記載してください。